

全国港湾労働組合連合会

中央執行委員長 竹内 一 様

25 春闘 3.30 全国港湾ストライキへの激励メッセージ

25 春闘において港湾ではたらくすべての労働者の大幅な賃金引き上げに向けて、果敢に団結を固めてたたかわれていることに敬意を表します。また、24 時間のストライキに立ち上がられたことに激励のメッセージを送らせていただきます。

私たち、国民春闘共闘委員会・全労連は、みなさんのたたかいを心から応援しています。また、連帯してたたかう決意です。

全国港湾が掲げた賃金の 10%以上（3 万円以上）の賃上げ要求は、歴史的な物価高騰が続くもとで、労働者の生活を守る要求として極めて真っ当な要求です。

25 春闘は、約 27 年ぶりとなる賃上げ水準となった昨年とほぼ同水準を維持する状況です。しかし、昨年も結局、実質賃金がプラスになることはありませんでした。労働者の生活は、日々苦しくなっており、25 春闘での賃上げ闘争は極めて重要性を増しています。

とりわけ、ケア労働者や公務労働者、非正規労働者の賃上げに困難が集中していることが特徴です。社会維持に欠かせない「公共の職場」に働く労働者の生活が脅かされているという事です。

「港湾」という、人々が生きるうえで欠かせない仕事を生業にしているみなさんの生活が守られないとすれば、人手不足は加速することにもなり、それは、社会損失そのものあり、公共を失うことになります。

何としても、25 春闘でかかげた、生活をまもる賃上げ要求を勝ち取るために、今回のストライキをみんなの力で成功させ「労働組合主導の賃上げ」を実現されるよう期待します。

私たち国民春闘共闘・全労連もみなさんのたたかいに連帯し、ともにたたかう決意です。生活改善が実感できる賃上げを実現するために最後までたたかいぬきましょう。

2025 年 3 月 28 日

国民春闘共闘委員会・全労連